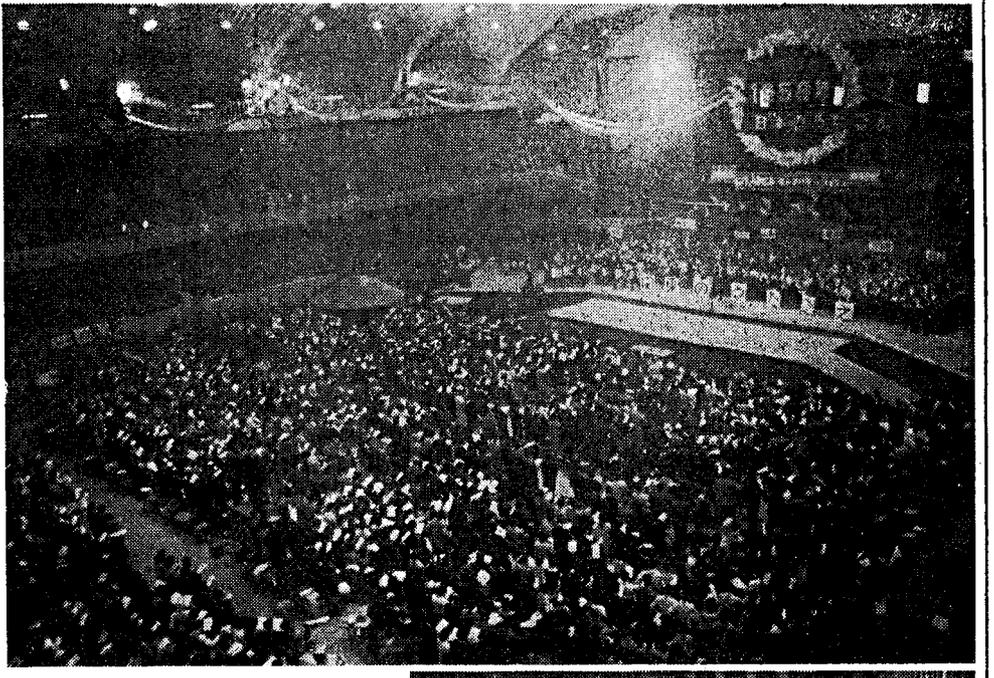




# たこえ祭典を終えて

## 沖繩から

祭典当日、祭典前後を通して並々ならぬお世話になった祭典実行委員会、音楽センターの方たちに心からお礼を申し上げます。  
 帰島したその晩、さっそく休む間もなく、仲間達に集ってもらい日本のうたごえ祭典参加の報告会を開きました。祭典に集った何万からの仲間達のこと、又、その人達を祭典に送った何十万、何百万からの仲間達のこと、会場での沖繩、砂川の闘いの熱烈な支援等私を感じたことを私なりに報告いたしました。中近東での戦乱が起つてのち、ますます平和運動に対する圧力が加わり、私達のようなえも米軍のたび重なる布告の改正(改悪)でノドをしめつけられているようです。  
 だが、私たちは声の出る間は決してうたごえを絶やせん。ここで私達がオシになつてしまつたら、祖国の皆様の支援



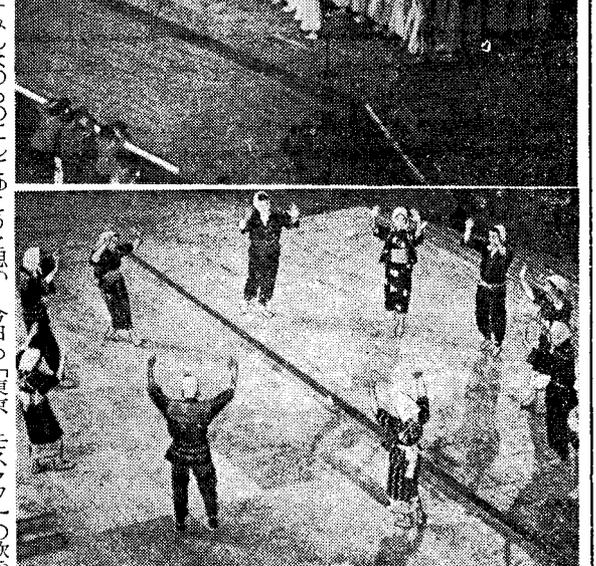
写真は 電通 山下敏彦氏  
 日本写真家連盟 馬場健一氏  
 全購連東京支所 笹尾博氏  
 自由写真家集団 日田純一氏  
 日本幻灯株式会社各氏提供

## 平和を願うのは 誰も一緒だね

興味本位に、たまたまのものはろいうぐらに上京してきた私達にうたごえはずばらしい力と勇気をあたえてくれました。小学校で練習した時はそれほど何の気持もあつたに歌つていきましたが、あの多勢の中に立つた時、心の底から歌うことが出来ました。歌いながら平和を願う心は誰も一緒だね、誰も一緒だねと念を押して、自分が職場に帰つたらこの感激をつたえ来年はもっと多くの参加者を出さよう、うたごえを自分たちのもの

## 創始者の労苦

昨年につづき今年も参加できたことを非常にうれしく思つております。小交流会の映画の美しい画面、中央合唱団の方の美しく澄んだ声による歌唱指導、そして夜の大交流会のあの盛大さは、ただただ見とれるばかりでした。この盛況の様子を帰つてすぐ皆に知らせ、さっそく教わつた歌をやりました。でも、まだまだ巷に流行歌を口ずさむ青年が仲間について、うたごえ運動をかく色目で見たりします。こういうことは、まだまだ、われわれの指導とか話合ひが欠けていることがハッキリしているのが残念でなりません。青年学校の中でのうたごえ運動を進める中で、町当局の眼にみえない圧力を感じております。こうした活動を通じて、はじめて関先生はじめこの運動を進めて来られた方々の御苦労がしみじみと感じられます。(群馬かづらうた会吉田一義)



## 感激の夢

うれしかった、たのしかった。祭典が終わつてまたさめきれぬ夢のような喜びの酔いの中で、わたしは

「一義勇連」より、雲田公代

## 大交流会の記録

### 二日目

安井原水協事務 総長の来賓あいさつのおと、葛西ばやしで開演、まず、北陸代表が郷土民謡を二つうたう。慶協が「山の子ども」司法の仲間が「沖繩を返せ」を歌い、全駐労働者につづいて埼玉原の梅踊り。金融七百名がビヤダルボルカを歌つて爆竹をならして氣勢をあげれば初登場の高校生が「歌声よ明日のために」と若さをみせさせる。日通の「悲しみに苦しみに」、私鉄の「風も吹雪も」力強いうたごえにみんなも拍手で和す。音楽センター、アコ班の演奏のあと、はじめて正式参加の織維の仲間が「機械の中の青春」を歌えば、八百人の医療のうたごえは、全真白衣に身をこつみ照明を消した全場が十本の灯をつけて美しく、ともしびを合唱する。

つづいて農村のうたごえは山梨の粘土節、東海の仲間が「夕やけ小やけ」のあと茨城真神池開拓団の元気い、「豊年はやし歌」だ。広島・長崎からやつてきた四十人の原爆被災者代表が「生きていてよかった」を歌えば、場内にいたわりと激励の拍手がどよもした。都市交通の労働者はユーモラスに「発車オーライ、ハイ、うたごえ電車が動きます……」と童謡を歌い、造船労働者は「俺達にはブームはこない」と書いたプラカードをもって「ぼくの歌」を歌う。さらに二百人の学生のうたごえ、五百人の印刷出版のうたごえ、五百人の雪です風です吹雪です、第一部を終つた。

第二部は第一日と同じ八丈島太鼓ばやしではじまり、中国、沖繩、朝鮮の歌とおどりにつづいて、東京大吹奏楽団の演奏。この時、アルトゥール・エイゼンさん一行が羽田から会場に到着、割れるような歓迎の拍手の中に入場した。エイゼン、は最後の全員合唱には舞台のスクラムの中に入りしよん、東京モスクワを歌つた

今日も「東京モスクワ」の歌を口ずさんでいる。今まで「うたごえ」に参加すると「赤」といわれどつてあんなすばらしい「平和のつどい」が危険視されるのか理解できなかった。

今年からは大声でうたごえに参加できる。たての力を切り、横にだす馬力。これこそ「うたごえ」の力だと思つた。「東京モスクワ」「東京モスクワ」とともに平和の力「うたごえ」は世界にびびりわたることだろう。

「私たちがセイは、職制の圧迫による苦しみの闘いの中から、お湯でしわなけになつたみにくい手を、かたくにぎりしめ、今日のはじめて組織を通じて、日本のうたごえに参加できました」と舞台から話せば「よく来た」「がんばれ」と会場の仲間から声援がかかると、うれしさと恥しさで思つ顔がほてる。落ちついて落ちついてと思つても胸はドキドキ「がんばるわ」と心に叫んで夢中で二曲うたひあげた。われのような拍手がおこる。待ちにまつたあの瞬間、製糸労働者の歴史に残るだろうあのとき。スクラムをガツチ組んだ隣の彼女は北海道のセイの仲間だった。北の津軽の海をこえてやつてきた友は「みんなのキャンパでやつと汽車賃ができたよ」と赤いホッペをほころばせ、うれしそうに話してくれた。

おなじみ「うたごえバッジ」を 御名刺にプレス!

山川一三

お申込みは前金にて……  
 A 一組百枚(千共) 一八〇円(片面刷)  
 B 一組百枚(千共) 二五〇円(両面刷)

東京都豊島区長崎1の64  
 清澄印刷 TEL (95) 1992

# FRAMA

イタリ-製

貴方のサークルにも フラマを是非どうぞ!

マリザ 2型 34キ-48パス・2スイッチ付  
 カタログ定価進呈 四六、〇〇〇円

日本総代理店一直輸入商  
 (資) グロバル・トレーディング  
 横浜市南区若宮町2丁目18番地  
 電話(3)3754 振替横浜 835

民謡とうたごえ喫茶

# エルベ

50円50円  
 50円50円  
 50円50円

指導者 指独り 歌唱7時 歌後

エルベ

新宿3の44(駅より5分) TEL (35) 2835 5086

